

2008.6.18 くもり 芦生・滝谷—天狗峠—七瀬—大谷—稜線—岩屋谷 野木鳥の会



京都府大の演習林標識



天狗峠への稜線歩き

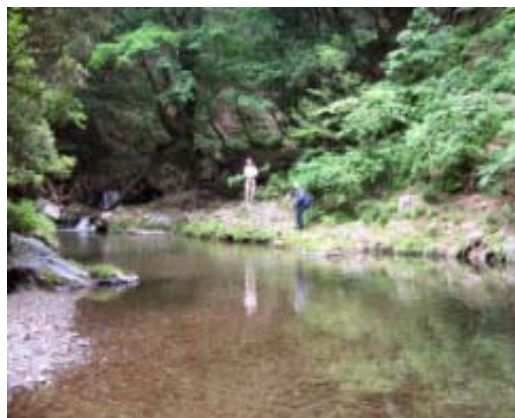
天狗峠



825 滝谷 P 916-926 滝谷右俣分岐 1031 稜線  
1057-1104 天狗峠 1155-1218 西尾根經由七  
瀬・昼食 1336-1348 大谷 1425-1438 二ボケ  
手前 1552-1602 二ボケ手前尾根から稜線  
1618-1624 P 936 手前のピーク 1700-1706  
京都府大小屋 1716 滝谷 P 9時間弱の行程



西尾根下り

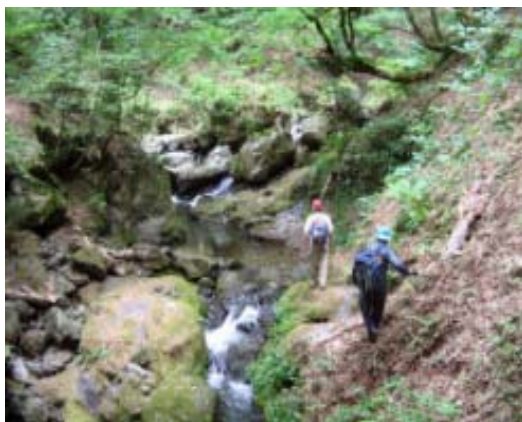


由良川 (大谷手前)

ついに念願の七瀬と岩谷の間だ。須後—七瀬、岩谷—中山はすでに経験スミ。七瀬と岩谷の間はガイドブックでは厳しそうに記載されており、かつ、トラブル時のエスケープルートの大谷も滝が多いとの記載があり、天狗峠に精通しているSさんに100%おんぶ。結果的には時間切れで七瀬—大谷間しか行けなかったが、大谷の一ボケと二ボケの間の広い谷とそこにあるカツラとサワグルミや栃の大木は見事であった。

滝谷Pから林道を進む。林道が切れ、谷沿いに。谷が見つかった時点より急な斜面にと

りつき、あえぎあえぎ稜線に。稜線には杉の大木が多く、見ごたえがある。小さな標識を持つ天狗峠に到着。



大谷を上る



カツラの大木



京都府大の小屋



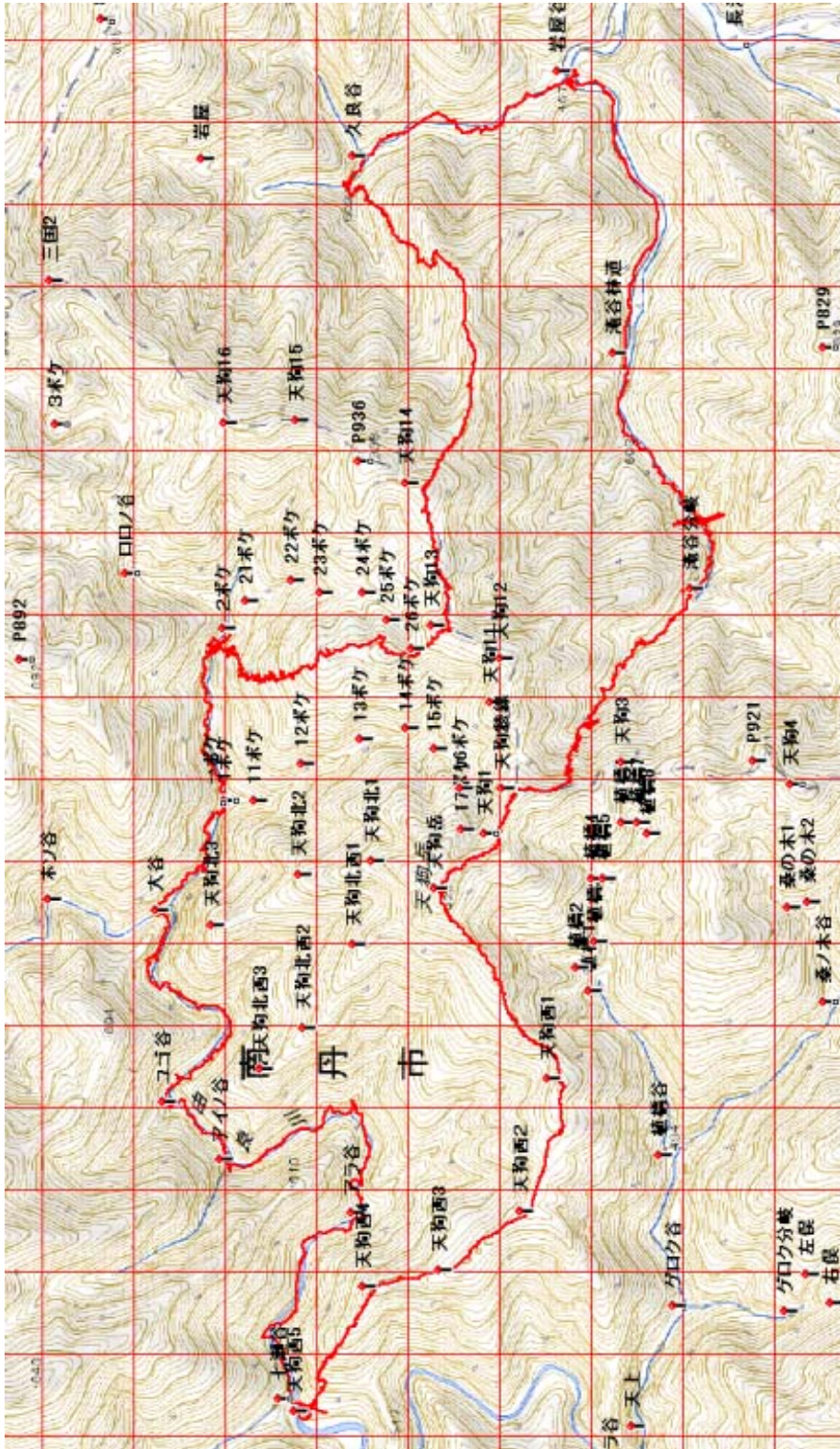
三国岳へのルート（岩屋谷）

演習林案内



天狗峠から西尾根をとり七瀬に。七瀬で昼食をとり、由良川を上る。道は適当についており、右岸と左岸を行ったり来たりしながら、大谷手前の蟹の横ばいに。結局、腰くらいまで浸かることはあったが、泳ぐ場面はなかった。大谷で時間切れということで二ボケを上るコースを選択。一ボケと二ボケの間の広い谷は芦生らしき一杯の巨木の多いすばらしい景色を持った場所であった。二ボケにいきなり大きな滝があり、巻く予定がそのまま尾根にあがるコースに変更。ゆるい尾根まで急なのぼりを1時間くらいあえぎながら登る。P936の手前のピークから滝谷Pに直行の予定であったが、京都府大用のピンクの目印に従ってくだり、府大の小屋にすんなり到着。林道で滝谷Pに。本文中の写真は暗さと手振れのためボケボケとなっています。御容赦ください。





ルート図

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

HOMEは <http://www7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/>

トップページは <http://mametil.googlepages.com/home>